

## 7 評価結果を生かした改善

### (1) 評価結果の公表・説明

評価の総括を行って、成果と課題が明らかになり、改善の方向がはっきりしたら、保護者や地域の人々に、その結果を公表・説明しましょう。

#### 〈公表の目的〉

保護者や地域の人々に、取組の成果と課題，改善策・向上策を示し，よりよい学校づくりに協力してもらうため。

#### 〈何を公表するか〉

学校自己評価委員会や職員会で、内容をどこまで公表するかを検討するとよいでしょう。その際、個人情報などには十分な配慮が必要です。

○次のような内容が考えられます。

- ・ 数値を含めた評価の集計結果
- ・ 改善策・向上策
- ・ 学校教育目標，重点目標の在り方など

#### 〈誰に公表するか〉

公表対象者についても、検討する必要があります。

○次のような対象者が考えられます。

- ・ 保護者
- ・ 地域の人々
- ・ 学校評議員 など

#### 〈どのように公表するか〉

公開対象者に合わせて方法を検討するようにしましょう。

○次のような方法が考えられます。

- ・ 学校通信を保護者に配布
- ・ 地域回覧等の利用
- ・ P T A 総会や学校評議員会
- ・ ホームページへの掲載（不特定多数の人に見られることに対する配慮が必要）など

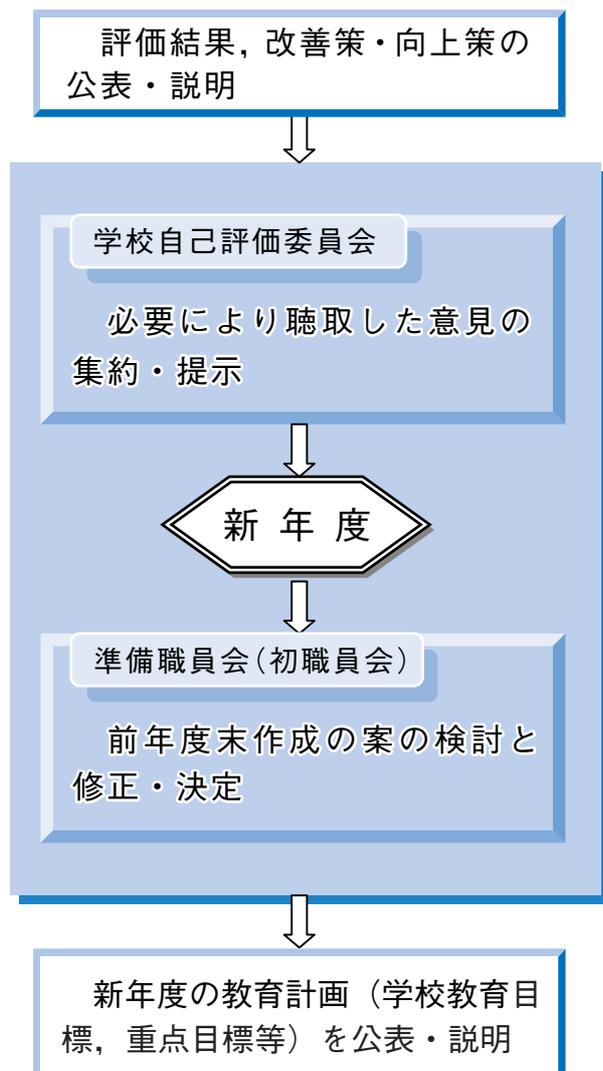
#### 〈いつ公表するか〉

次年度の計画作成の時期までには公表しましょう。

○必要により、さらに意見を聞く機会を設けて、保護者等の協力を求めることも考えられます。その際、年度末という時期を考慮して、意見聴取の方法を工夫するなど、教職員の負担に対する配慮が必要です。

## (2) 教育課程・学校運営の改善

取組の成果や課題, 改善策・向上策について保護者や地域の人々に公表・説明するとともに, 評価結果を生かして, 次年度の教育計画の策定の準備をしていきましょう。



遅くとも3月上旬までには, 評価結果や改善策・向上策を公表しましょう。

内容によっては, 公表したことについて, 保護者や地域の人々, 学校評議員等に対してさらに意見を求めること, それを学校自己評価委員会で集約して職員会で示し, 次年度の方角をはっきりさせていくことも考えられます。

新年度の準備職員会(初職員会)で, 前年度末にまとめた案をもとに, 必要に応じて修正して決定します。

新年度の学校教育目標や重点目標, 学年や教科の取組の重点などについて, 年度当初のPTA総会や保護者懇談会等で説明するとともに, 学校要覧や学校通信等で公表します。

教職員一人一人が, 自己の教育活動を見つめ, 心を一つにして学校改善を確かなものにしていきましょう。

